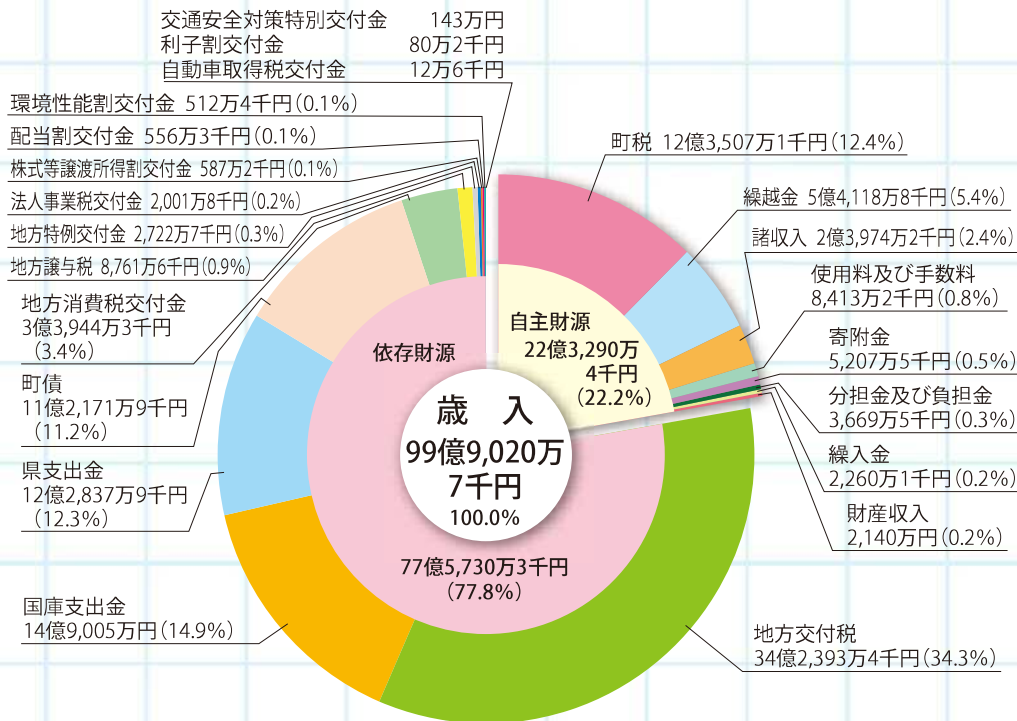


決算報告

令和3年度一般会計・特別会計および企業会計の決算が、9月の第6回川俣町議会定例会で承認されました。今月の特集では歳入・歳出を中心に決算のポイントをお伝えします。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大というこれまでになかった脅威への対応を切れ目なく行いながら、「第2期川俣町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に定める基本目標の達成に向けて、子どもの教育環境の整備を始め、中央公民館の耐震改修事業や、これ



まで継続的に実施してきた原子力災害からの復興事業も重点的に取り組んだ1年となりました。

町の歳入は前年度決算と比較して18億3,869万3千円減の99億9,020万7千円となり、歳出は19億2,302万6千円減

の91億3,832万円となりました。

歳入から歳出を差し引いた8億5,188万7千円から令和4年度に繰越した1億9,702万円を除く6億5,486万7千円の黒字決算となりました。

特別会計

特定の事業については、より収支を明確にするために一般会計とは別に会計項目を設けています。特別会計の決算は次の表のとおりです。

特別会計名	歳入	歳出	形式収支	特別会計名	歳入	歳出	形式収支
国保会計（事業）	15億7,902万2千円	15億2,255万円	5,647万2千円	小島財産区会計	1,242万8千円	13万円	1,229万8千円
国保会計（施設）	1,423万2千円	1,423万2千円	0円	飯坂財産区会計	2,083万9千円	67万5千円	2,016万4千円
介護保険会計	20億5,151万4千円	19億6,339万6千円	8,811万8千円	大綱木財産区会計	91万円	8万4千円	82万6千円
後期高齢者医療会計	1億8,522万9千円	1億8,210万5千円	312万4千円	小綱木財産区会計	416万2千円	9万6千円	406万6千円
奨学資金会計	1,747万4千円	1,747万4千円	0円	山木屋財産区会計	33万6千円	9万3千円	24万3千円
簡易水道会計	1,226万円	1,141万6千円	84万4千円	水道事業会計	事業収益	事業費用	当年度純利益
工業団地造成事業会計	3,466万8千円	3,466万8千円	0円	損益計算書	2億4,192万2千円	2億2,683万5千円	1,508万7千円

引き続きコロナ対策を

令

和2年度から取り組んでいる新型コロナウイルス感染症対策においては、新型コロナウイルススワクチンの接種事業について町内の医療機関との連携による体制構築により、オンライン予約システム等も取り入れながら3回目までの接種で延べ27,460人に対して接種を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町民税非課税世帯1世帯あたり10万円を給付する臨時特別支援給付金の実施や子育て世帯への臨時特別給付金等の支給、町内の事業所や農家等に対する支援等も実施しました。

原子力災害からの復旧・復興事業においては、山木屋地区の水田の広域的な営農再開を推進し、農業者の帰還促進を行うため、水稻生産収穫調整機械と穀類乾燥調整施設の整備を行いました。

また、除染対策事業においては、仮置場返還の加速化に努め、町内7か所の変更工事を実施しました。

教育関係を重点的に

教

育費においては、令和4年4月の小学校再編へ向けて、

川俣小学校の校舎の大規模改修やプールの改築、周辺道路の整備などを行うとともに、標準服が新しくなることによる保護者の負担を軽減するため、標準服の支給を実施しました。

一方で、閉校となる各小学校においては地域とともに閉校事業を実施しました。

児童施設においても、令和5年4月からの幼稚園・保育園を再編した認定こども園の開設に向けて、再編先となる川俣南小学校の改修のための実施設計を行いました。

施設の工事を実施

施

設の老朽化や耐震性が課題となっていた中央公民館に

については、耐震補強・施設改修工事を実施し、耐震ブレースやエレベーターの設置、トイレの洋式化等に着手し、これまで以上に安全で使いやすい施設を目指しました。

そのほか、令和3年2月13日に発生した福島県沖地震において被災した山木屋中学校、山木屋公民館、川俣町体育館等の災害復旧工事を早急に実施するとともに、令和元年東日本台風により甚大な被害を受けた農業用施設等の復旧を引き続き行い、令和元年東日本台風の災害復旧は令和3年度で完了となりました。

新型コロナウイルス感染症対策のほか施設の工事など盛りだくさんの内容ですね！

